

みつけたみよしの
はつらっさん

長年、警察官として務めてきた佐々木さん。その経験を生かし、現在も豊田警友サーフティ・ボランティアとして青少年の非行防止や防犯活動に尽力しています。また下水道の整備や水害対策、集会所の建設など地域の仕事にも携わってきました。「世話好きなんです。みんなが安心して暮らせる地域になれば」と笑顔で話します。

また、昭和16年から普段の生活で得たことから『人の道(人生)の杖となる標語集』を作成。「名言・格言を調べながら思いついたことを書きためてきました。孫への手紙になればと思います、今も書き続けています」とのこと。一方で「自分史」をまとめた自叙伝も書いています。

健康の秘訣は、毎日一時間ほどのウォーキングと家庭菜園で収穫した野菜を食べること話す佐々木さん。これからも元気に地域の安全のために活動してください。



安心して暮らせる地域のための活動を

佐々木 貞男さん(平池)

▶▶▶プロフィール

ささき・さだお 大正15年生まれ。平池行政区長をおよそ3年間、青少年健全育成推進協議会理事を8年間務めるなど、地域の発展に尽力。趣味は切手・古銭収集、清流釣り。柔道3段、剣道は初段の腕前。お孫さんからもらった手紙などをスクラップした本が宝物。



三好丘中学校

男子バスケットボール部

今回は三好丘中学校の男子バスケットボール部を紹介します。顧問の吉川直希先生とキャプテンの石川友貴君に話を伺いました。



2、3年生部員が4月に北中学校から分かれて27人でスタートした初代男子バスケット部。パス、シュートの基礎練習に重点を置き、3対3などの実践的な練習を交え、真新しい体育館に部員たちの活気があふれています。

「4月の町長杯で見事逆転優勝し、ムードが高まっています。まずは全員で声を出し合うことをモットーにして練習しています」と石川君は部を引っ張ります。

吉川先生は「楽しみながらも真剣勝負の厳しさを感じながら練習して欲しい。悔いの残らないよう、努力が勝利につながるようなチームになってくれれば」と温かく見守ります。

7月に開催される西三河中学校選手権大会出場を目指して一層気合が入る毎日。「一つでも多く勝ち、三好丘中は強いと印象付けたい」と石川君は意気込みを熱く語ります。



お誕生日コーナーの応募者で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク・ク・さんさんチャンネル「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

おめでとう おたんじょうび 6月

『元気にお散歩』

ペンを上手に使用してお絵描きができるゆっきちゃん。外で遊ぶのが大好きで、天気の良い日は花を摘みながらお散歩するよ。靴を一人で履けるようになったゆっきちゃんに「いろいろなものに触れて、生き物を大切にしている優しい子になってね」とお母さん。

宮崎 百輝ちゃん(三好下)

父・惣輔さん 母・孝子さん
平成16年6月15日生



『大きな乗り物大好き』

かっちゃんは大きな乗り物が大好き。シヨベルカー、ロードローラー…たくさん名前を言えるんだ。小雪お姉ちゃんといつも元氣いっぱい遊んでいるよ。ごはんの片付けが上手にできるかっちゃんに「人の気持ちが分かる優しい子になってほしいな」とお母さん。

柘植 克己くん(西一色)

父・輝貴さん 母・晶子さん
平成15年6月26日生



出場者募集

- ▼【8月のお誕生日コーナー】
- ▼応募期間 7月3日から5日まで
- ▼対象 8月生まれで3歳未満の児
- ▼応募方法 広報情報課へ電話 ☎(32)8357
- ※6月生まれの応募は、14人でした。



Miyoshi
no
Bungei

俳句

せせらぎの旋律やさし花日和 足立 梅光
束の間の生命の限り桜花 堀越 鋼蔵
吸い込まれる花の花のトンネルに 原田 米子
花の匂を添へて絵手紙ポストまで 伊豆原やゑ

短歌

筆まめの友の便りのほのぼのと花見のさそいうれしかりけり 鈴木 早苗
寒風のすきぶ日ごとにすくすくと伸びて今朝咲く水仙の花 西山 邦子
大木に体を寄せて目をつむる懐かしくして抱か
るごと 深谷とみ子

狂俳

提言 残せ自然を故里え 原田 里秋
弟子 耐える修行に明日がある 塚本 湖村
手酌 恋に破れた酒苦い 久野 夢楽

災害被害の軽減に備え

水防訓練

災害時の被害軽減と防災意識の高揚を図ろうと5月28日、水防訓練が西一色地内の境川堤防で行われました。豪雨による洪水を想定した今回の訓練には、災害時の支援や応援活動協定を結んでいる団体、消防団など10団体およそ380人が参加。小雨が降り注ぐ中、土のう作成や積土のう工法、炊き出し訓練などと本番さながらに取り組みました。訓練後の講評で久野知英町長は「有事の際にはご協力をお願いします」と呼び掛けました。



自分の運転を見直そう

高齢者交通安全実践教室

高齢者の交通事故を防ごうと5月21日、三好自動車学校で高齢者交通安全実践教室が開かれました。参加した32人は、豊田警察署交通課の秋葉有志^{あきはゆうじ}巡査部長の講話とビデオによる講習の後、運転適正診断と運転技能指導を受講。反応速度の計測や教習コースでの実習で運転時の注意点を見直しました。男性の一人は「飛び出しの実習は、本当にびっくりして急ブレーキを踏みました。常に注意が必要ですね」と気を引き締めていました。



共に深めよう文化の輪

春の文化展

日ごろの文化芸術活動の成果を発表して、より多くの人に関心を持ってもらおうと5月25日から28日までの4日間、春の文化展がサンアートで開催されました。今年のテーマは「共に深めよう文化の輪」。絵画などおよそ500点の展示や舞踊など14団体の芸能発表が行われ、会場は華やかな雰囲気包まれました。女性の一人は「孫の発表を見に来ましたが、わたしも何か始めてみようかと思えます」と刺激を受けた様子でした。



収穫が楽しみ

芋の苗植え体験

天王・わかば・みどり保育園の年長園児137人が5月25日、筋生地内の畑で芋の苗植えを行いました。植物の成長や食物について学び関心を持つてもらおうと毎年行っているこの行事。畑を管理する農業振興クラブのメンバーから植え方の説明を聞いた園児たちは、早速挑戦。畝に張った黒いビニールの穴から苗を差し込み、土をかぶせていきます。園児の一人は「芋になるのはいつかなあ」と収穫を楽しみにしていました。



愛称は「^{おどり}ODORI^{マックス}MAX！」

三好いいじゃん踊り指導者委嘱状交付式

平成8年に発足した三好いいじゃん踊り普及会。今年度から愛称を「ODORI MAX！」として「元氣いっぱい楽しさいっぱい笑顔いっぱい」を合い言葉に活動中です。5月26日には、三好町観光協会の久野知英会長が会員50人に委嘱状を交付。「愛称も決まり、新たな気持ちでいいじゃんまつりを盛り上げてください」とあいさつしました。その後、新しいロゴ入りのTシャツを着た会員たちは、熱心に練習に励んでいました。



チーム戦略が勝利のカギ

なかよしクラブ「カローリング交流大会」

氷上のスポーツ「カローリング」を体育館などでも楽しめるようにと考案されたカローリング。このスポーツに親んでもらおうと5月28日、カローリング交流大会が中部小学校で開催されました。初心者や経験者など55人が参加したこの大会。3人1組のチーム対戦で、戦略を練り微妙な力加減を駆使して得点を競いました。友達と参加した児童は「初めてだったけど、簡単にできて面白いです」と新しいスポーツを楽しんでいました。

